日本洋装界の歴史は日本洋装協会の歴史

NDAモード通信

発行所　一般社団法人　日本洋装協会

一般社団法人　日本洋装協会
事務局　〒113-0034
東京都文京区湯島4-8-3-307
TEL（03）3814－7023
FAX（03）3814－7023
発行人　中田　眞理
編集人　三鈷イツ子
年３回発行　遠藤　順子
リビ　裕子

2018 全日本洋装技能コンクールを終えて

理事長
コンクール運営委員長　中田　眞理

去る10月8日中野サンプラザに於いて厳正な審査を終え各賞が決定しました。11月9日ヤクルトホールにて発表会が華やかに開催されました。

逢沢会長の主催者代表挨拶に始まり、ご来賓の山東昭子様のご祝辞を頂き、その後内閣総理大臣賞、参議院議長賞に次いで上位入賞者に賞状が授与されました。

本年も全国から優れた作品が集まりました。ただ、例年より作品数が少なかったのが残念です。今回は学生枠を設けましたが応募がありませんでした。若年層を拡げる対策が早急に求められています。

反面、初めて応募された方が10人以上あり嬉しい限りです。

年々作品の技術のレベルが上がってきており、カジュアル部門ではシンプルですが、縫製が丁寧に施されている作品が多く見受けられました。オートクチュール技術が今後も伝承していくことを願っています。

このコンクールにおける皆様方の作品に込めた情熱と絶え間ぬ努力が一層技術の向上と後進の育成に繋がっていくことと考えます。

終わりに入賞された皆様にはお祝い申し上げますと共にコンクール開催にあたり、ご支援・ご協力頂きました関係者の皆様に御礼申し上げます。スタッフの方々には準備段階からのご精勤を心より感謝申し上げます。

又、第1回より開催しておりましたヤクルトホールでの発表会は今年限りとなりまして、来年は新たな会場での開催予定でございます。

表彰式

フィナーレ

新年会のお知らせ

平成31年1月15日（火）
場所　中野サンプラザ
皆様奮ってご参加ください。

第5回NDAクチュール　コレクションのお知らせ

日時　平成31年4月20日（土）
場所　中野サンプラザ
詳細については後日ご案内いたします。

＝NDAニュース＝

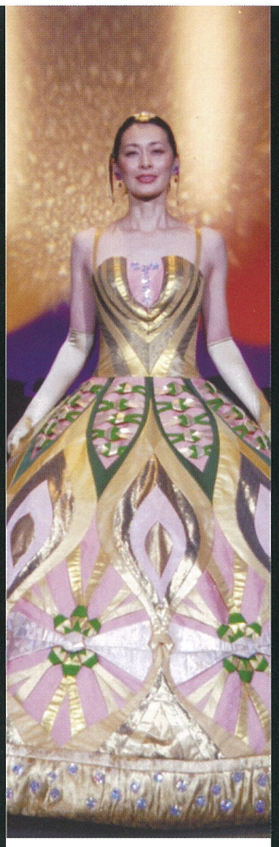
http://nihonyousou.or.jp/

黄綬褒章受章（春）　石井　幸子（福岡県）
小島　恭子（宮城県）
黄綬褒章受章（秋）　須永　正江（群馬県）
現代の名工受章　伊賀　玲子（茨城県）
高野　秋子（宮城県）
全技連マイスター認定　馬場　明子（長崎県）
リビ　裕子（東京都）
国家検定（婦人子供注文服製作）
一級合格者　佐藤　京子（神奈川県）
瀬口麻衣子（福岡県）
鈴木真紀子（茨城県）
二級合格者　阿部かおり・和泉佳寿子
小野　美月・谷　絵理子
森嶋　永佳・大平惠美子
竹内絵津子・滝川　通子
御園生雅子・アモール麻里子

30年10月1～2日　ものづくりフェア東京'18　新宿西口イベント広場
30年11月3～4日　第56回技能五輪全国大会（沖縄県）
30年11月9日　全日本洋装技能コンクール発表会　全国技能士大会
31年1月7日　初顔合わせ　挨拶回り
31年1月10～11日　職業訓練校技術フェア　新宿西口イベント広場
31年1月15日　新年祝賀会　中野サンプラザ
31年2月11日　初春セミナー　洋服会館
31年3月2～3日　第52回技能グランプリ大会（神戸）参加10名

新入会員
黒澤　京子・目黒　峰子
伊藤　安子・佐藤　京子
賛助会員
ファッション企画　ヨシムラ

入賞作品　A部門（フォーマル）　B部門（カジュアル）



内閣総理大臣賞A　（学）ドレスメーカー学院長賞A　リビ　裕子（東京都）　イブニングドレス

日本伝統である正絹の袋帯の生地から西洋のドレスに仕立てました。ドレスのシルエットを形作るすべての構造線をデザイン線にパターン展開してあります。デザインポイントである105個の結び目は帯どめに使用される本結びを表現、平和への祈り。

参議院議長賞B　（株）ブティック社社長賞B　可児ロレタ・オビロス（神奈川県）　スリーピース

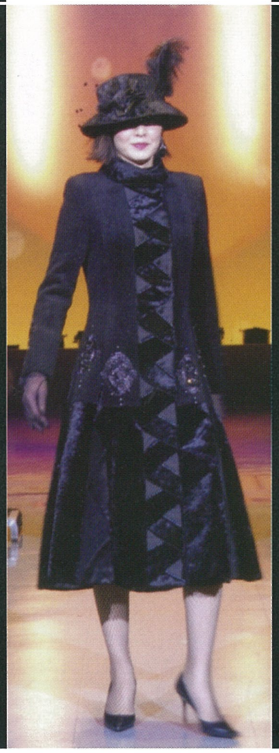
10ミリ幅のシルクを折り返して5ミリ幅のバイアステープを作り、それをベースにファゴティングと、蜘蛛の巣織り、アクセントの小さなレザーの花でカーディガンを製作。模様が目立つ様にインナーミニドレスとパンツは光る生地でシンプルにした、それぞれ単独で着用可能な3ピース。

厚生労働大臣賞A　鈴木真紀子（茨城県）　ウェディングドレス

幅の異なる2種類のプリーツは、ひだを保つ様チュールを添えて幾重にも折りたたみました。流れるようなプリーツのラインはうねりながら、胸元からトレーンへ向かいます。プリーツの折りたたんだ直線の陰影と流れる曲線が美しい一着となりました。

厚生労働大臣賞B　文化出版局賞B　佐藤理恵（宮城県）　スーツ

ジャケットのデコルテ、袖とワンピースの裾のレースをポイントにしました。又、ジャケットの裾にファーフリンジを付けてアクセントにしました。



厚生労働省人材開発統括官賞B　伊賀玲子（茨城県）　コート

経済産業省製造産業局長賞A　井上栄子（山口県）　ロングドレス

経済産業省製造産業局長賞B　金武節子（佐賀県）　コート&ワンピース

東京都知事賞A　（株）ブティック社社長賞A　向山裕子（千葉県）　アンサンブル

経済産業大臣賞A

梶谷幸子（島根県）ロングドレス

湖に朝日が昇り波間がキラキラと輝き、とても美しく、その姿をイメージしながら製作しました。昔教わった、ファンシープリーツにしてビーズ、スパンコールをつけました。

経済産業大臣賞B　新人賞B

末岡昭子（山口県）ワンピース

アシメントリーな切り替えでリバーシブルな生地を生かしたデザインで視覚効果を出したワンピース。スカート部分の美しいシルエットラインを出すのに苦労しました。共布でバックも作りました。

中小企業庁長官賞A　（学）文化服装学院長賞A

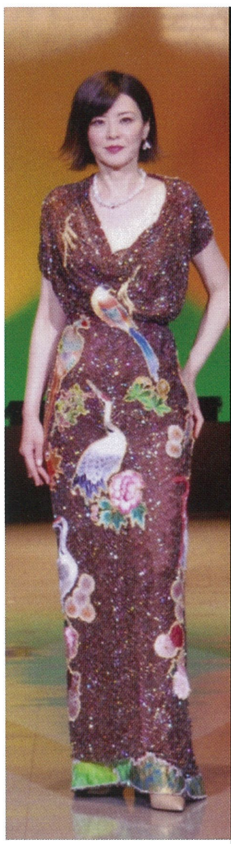
酒井啓子（石川県）ロングドレス

昔の花嫁衣裳です。裏地の赤のトリミングで全体を引き締め裏側の絵の蝶結びの帯で華やかさをプラス、カーブライン仕立ての絹のストールでしなやかに包みました。

中小企業庁長官賞B　（学）文化服装学院長賞B

大平恵美子（茨城県）ジャケット&スカート

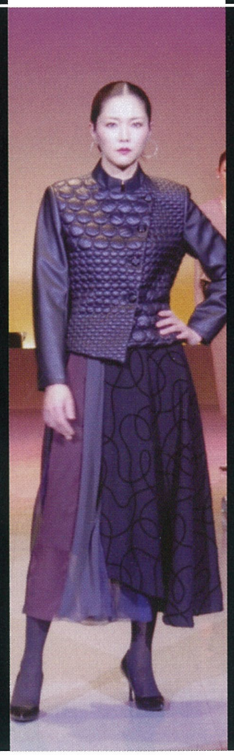
秋らしいカラーのツイードに晴れやかなゴールドの合皮を合わせ女性らしいかっこよさを表現。スカートにはオーストリッチの羽根を使用しビーズ刺繍を施した。



厚生労働省人材開発統括官賞A

須永正江（群馬県）カクテルドレス

一枚の布は鋏を入れずに立体的にドレスにしました。鳥と遊ぶをテーマに刺繍したものをパッチワークにして屏風のように絵物語のドレスを夢みて製作。



東京都知事賞B

鈴木悦子（千葉県）ジャケット&スカート

東京都議会議長賞A

服部節子（岡山県）パーティドレス

東京都議会議長賞B　（学）ドレスメーカー学院長賞B

小幡明子（東京都）スーツ

東京都産業労働局長賞A

坂本愛里（栃木県）マリエ色ドレス

東京都産業労働局長賞B

藤田優里（埼玉県）スーツ

入賞者（A部門フォーマル）（B部門カジュアル）

日本商工会議所会頭賞	A	池上久美子	
〃	B	由井志津子	
東京商工会議所会頭賞	A	神林　敦子	
〃	B	西田　和美	
中央職業能力開発協会会長賞	A	小嶌美恵子	
〃	B	平田　靖子	
東京都職業能力開発協会会長賞	A	野村　照子	
〃	B	石田きよみ	
(一社)全国技能士会連合会会長賞	A	大野木雪子	
〃	B	石原　洋子	
全技連マイスター会会長賞	A	大内　隆夫	
〃	B	志賀　明子	
(一社)東京都技能士会連合会会長賞	A	高野　秋子	
〃	B	坂本美世子	
(一社)日本産業訓練協会会長賞	A	可児ロレタ・オビロス	
〃	B	角田　春江	
(公社)日本洋装技能協会会長賞	A	越尾　薫	
〃	B	竹内絵津子	
(一社)日本洋装協会会長賞	A	栗田わかこ	
〃	B	須藤　陽子	
(公社)全日本洋裁技能協会理事長賞	A	日比　和子	
〃	B	臼井冨美子	
(一社)日本洋装協会理事長賞	A	馬場　明子	
〃	B	森山　一江	
新人賞	A	神林　敦子	
〃	B	末岡　昭子	
(学)文化服装学院長賞	A	酒井　啓子	
〃	B	大平恵美子	
(学)ドレスメーカー学院長賞	A	リビ　裕子	
〃	B	小幡　明子	
文化出版局長賞	A	神林　敦子	
〃	B	佐藤　理恵	
(株)ブティック社社長賞	A	向山　裕子	可児ロレタ・オビロス
〃	B		

デザイン賞（順不同）

A部門　8名
小林恵美子　竹谷　満美
島田　暄子　三鈷イツ子
廣谷きくゑ　松本　慶子

B部門　12名
辻　和子　日比　和子
川村　則子　石川　理子
佐々木美咲　加藤　文子
松尾サヨ子　吉田　素子

カッティング賞（順不同）

A部門　9名
小山　州子　三浦万有美
小島　恭子　岡本　明子
落合貴美子　佐藤　順子

B部門　9名
山﨑　雅子　坂田　英子
山田恵美子　矢矧　洋子
伊藤　征子　小宮　夏花

クチュール賞（順不同）

A部門　8名
伊藤　フサ　遠藤　順子
目黒　峰子　大谷　直子
焼田　美紀　渡邊　ふく

B部門　13名
大野　法子　渋谷　陽子
石井　幸子　河田美智子
上杉奈緒美　大沼恵美子
堤　志保美　藤澤　勇慈
大喜多弘隆　福原美穂子

秋國みち子　仲　洋子
太田さい子　長谷川雅美
　　桂　正美
　　永田久美子

大日向敬子　合田　睦子
志賀　明子　中村　仁美
三瓶　操　今村　博子
　　峰　早百合
　　平　良子

中西　真波
千田　芳江
藤川　幸子
福原美穂子

技能コンクール　技能コンクールの審査をして

（株）ブティック社　東宮　千鶴

「2018年全日本洋装技能コンクール審査会」は10月8日中野サンプラザにて行われました。

毎年ヤクルトホールで開催される入賞作品発表会に伺っておりましたが、審査会は初めてでした。一つ一つの作品を間近に見ることができて細かい手仕事や美しい技に改めて感激致しました。

今年はカジュアル作品が55点、フォーマル作品が46点あり、慎重に審査させて頂きました。今年はカジュアルとフォーマルの違いがはっきりとしていたように感じました。

カジュアル作品は艶やかな装飾がない分、きちんとしたパターンから生まれる美しいシルエットや、巧みな切り替え、また素材の生かし方などで、それぞれの作品の技が光っていました。

反対にフォーマルの作品では、どの作品も高い技術力による細やかな手仕事や、きらびやかな装飾の数々に息をのむ大作でした。

どの作品からも素晴らしい技術を見ることができましたが、「実際に着ることが出来るのかしら」と思うような重さや窮屈さを感じてしまったり、装飾ばかりが目立って全体のバランスが悪くなってしまっている作品もありました。

パターン操作の技術や縫製の力を持っているのに、それが消されているのではないか、と感じてしまいました。

技をプラスしていくのではなく、マイナスすることでも、美しさが生まれることもあると思います。

洋服は着る人を美しく見せることが一番大切なことです。このことを考えて、今後も素敵な作品を作っていって頂きたいと思います。そして益々、このコンクールが発展していくことを願っております。

審査風景

黄綬褒章を受章して 感謝の会

福岡支部副会長　石井　幸子

去る十月十三日、地元福岡市内のホテルで「黄綬褒章の報告と感謝の会」を開催しました。東京からは、当協会の内野会長、中田理事長、大関全国技能士会連合会会長、飯島副会長に出席を頂き、又、地元からは県職員幹部の方をはじめ、技能士会会長、福技連マイスターの仲間、〝クチュールとうじ〟のお客様等の沢山のご出席を頂きました。はじめに来賓のお祝いの言葉、花束、記念品の贈呈があり、その後は、プロのミュージシャンのピアノ演奏があり、楽しい時間を過ごしました。

この会場は、母、東司フサエが二十三年前、同じ祝賀会を開催した思い出の会場であり、感激もひとしおでした。

今回の受賞につきましては、当協会の皆様のご支援の賜物と感謝申し上げます。今後は、後進の指導に力を注ぎ、一層の精進をして参りたいと考えております。

前列左が石井氏

地区だより

針をもって50年

クープ・ティープタカノ　高野　秋子

平成30年7月1日に仙台ロイヤルパークホテルに於いて、創立記念のファッションショーを開きました。

幼い頃から洋裁を夢見て今日まで励んできましたが、50年の月日に驚いてしまいます。

ショーのモデルは、長い間当店でオートクチュールのご注文をして頂いたお客様とウォーキング教室の生徒、職人塾の生徒で、総勢40名の方に協力頂きステージを華やかにしました。又、シンガーソングライターやプロの演奏も後押ししてくれました。

現在洋裁を学んでいる若者が多くいると思いますが基礎をしっかりと勉強する人が少なくなっているように思います。少しでも若い方の刺激になり洋裁に興味を持ってもらえれば、と思い開催した小さなファッションショーでした。

日本洋装協会の先生方にもお手伝い頂きまして、感謝申しあげます。

2018初夏のセミナー

中北あさ子先生と石崎松子先生の革のデザインの特徴と縫製の仕方

教育副部長　黒澤　旬子

7月16日洋服会館ジェントリーホールにて初夏のセミナーが開催されました。

講師には皮革フリーパタンナーとしてご活躍中の中北先生と石崎先生にお願いいたしました。

動物の皮を革にするには「なめし」と言い「鞣」と書きます。

文字通り革を柔らかくする作業だそうです。

5種類の革（羊、牛、山羊、豚、鹿）は実物を見ながら特徴の説明を受け、上質な部分を中心に合わせ、伸びやすい腹は脇にするなど、革は均一ではないと理解しました。

裁断や縫製は、スライドで作業風景を見た後に作品を観ながらの解説です。

革は縫い目が残るので、縫い直しはしないこと。アイロンの代わりに縫い代をローラーで割り開き、カナヅチでたたき、ゴムのりで止める等、布地の洋裁とはまるで違う方法に驚きの連続でした。

展示の作品は、そんな製作過程があるとは思えないほどに優雅で素敵な洋服でした。

ものづくりフェアー東京18 &技能士展

合田　睦子（神奈川県）

平成30年10月1日～2日に行われたものづくりフェアは、前日の大型台風の影響で交通は乱れ、強風に襲われて不安の中で開催されました。

当協会の無料体験は、帽子と、フェルトで作る組子ミニトートバックでした。

帽子はネックウォーマーにもなる優れもの、組子トートは匂い袋や飴入れになる可愛いバックです。

1日目は85人、2日目は56人と大勢の方が体験いたしました。

ステージで行った実演は内野靖子会長の「フリルカラー展開のアラカルト」、数種類の作品をみながら、色々なフリルカラーの展開や、ギャザーの分量の決め方等を説明、又、ロールカラーにはオーガンジーの芯をいれると、ふんわりと仕上がる事など、とても参考になる実演でした。

展示は、中田（現代の名工）、伊賀、佐藤（順）の作品でした。

実演する内野靖子会長

REPORT No.55

アジア注文洋服業者連盟韓国（大邱）大会に参加して

日比　和子（東京都）

第27回マスターテーラーアジア大会は2018年7月30日～8月4日迄、韓国の南部に位置する都市、大邱（テグ）で開催されました。

この大会に成田から8名と、関西から15名と釜山空港で合流し関係者から歓迎を受けた後、約一時間半バスに乗車して、ホテルに入りました。

一日目、ウェルカム・ディナーではキム・テシク大会会長とホー・リャンフン世界大会会長のご挨拶があり、アジア9カ国、約250名の参加者があり和やかに開幕しました。

二日目、会場への通路はショップや人台コンクールの作品32点が飾られ賑わった中で民族衣装を着た人達の、太鼓と鐘のパフォーマンスがあり、各国の国旗が入場しました。

午後の市内観光では大邱薬令市・韓医薬博物館・近代的外観の「大邱美術館」を訪問しました。

三日目、国際マイスターテーラーズ・コンペ、ゴールドフィンガー・コンペ、更に韓国ビスポーク・ファッションショーが催されました。（写真①）

写真①

写真②

四日目、メインイベントの国際ファッションショーでは各国の力作90点の出品があり、日本からは紳士服7点、婦人服5点が出品され喝采を浴びました。

五日目、市内観光は「大邱テキスタイル・ミュージアム」に向かい、昼食は、韓国伝統料理のレストランでマッコリを飲みながら韓国料理のフルコースを味わいました。

大邱大会最後の夜はブラックタイ着用のフェアウェル・ディナー（写真②）が開催され、表彰式では安積アジア連盟の会長から各国の功労者に金賞、銀賞が贈られました。

六日目は全員そろってホテルをチェックアウトして帰国の途に着きました。

2019初春のセミナーのお知らせ

日時　平成31年2月11日（祝）
13時～16時

場所　東京洋服会館3F
ジェントリーホール

研修テーマ
「毛皮の扱い方」
終了後ヨシムラの生地の紹介と販売を致します。

詳細につきましては後日お知らせします。

申し込・問い合わせ
教育部　日比まで
03（5490）0099

平成30年度職業訓練指導員48時間講習のご案内

受付場所　東京しごとセンター7階
東京都職業能力開発センター

対象者　1級技能検定合格者

受講料　12500円

申し込　検定部臼井まで
024（364）3946

講習期間及び受付日

●定員　1回80名、2回45名、3回35名
受付期間内でも、定員になり次第受付を締め切らせて頂きます。

会場日程は変更となる場合があります。

●講習場所　東京都しごとセンター内
講習室内

回	開講曜日	講習日（各回計6日間）	受講申請受付日
第1回	土日コース	6/24（日） 6/30（土） 7/1（日） 7/7（土） 7/8（日） 7/14（土）	5/28（月） 5/29（火）
第2回	平日コース	11/26（月） 11/27（火） 11/28（水） 11/29（木） 11/30（金） 12/3（月）※予定	10/30（火） 10/31（水）
第3回	平日コース	平成31年 2/28（木） 3/1（金） 3/4（月） 3/5（火） 3/6（水） 3/7（木）※予定	平成31年 1/24（木） 1/25（金）

ものづくり匠の技の祭典2018

広報部　三鈷イツ子

今年は猛暑の夏、気温も30度を越え、それに風も強く台風13号が接近すると予報が出て、不安になりながら有楽町の東京国際フォーラムの会場に向かいました。

8月8日～11日まで開催された祭典は日本全国から集まった、匠の技能士や各地の特産物の紹介等、会場は準備で大変でした。

今年で第3回となる匠の技の祭典ですので皆さんの熱気も感じます。

8月8日のオープニングセレモニーは小池都知事を迎えて定刻10時に開場しました。その後オートクチュールコレクション、タクミジャパン2018のファッションショーが行われステージが湧きました。くまもん、きびたんもかけつけて、会場を回って応援してくれました。

日本洋装協会のブースではシュシュづくり体験をして、72名が参加、手作り販売品もあり理事一同で協力しました。

学生通訳のボランティアも「韓国語、英語、中国語」と海外からの来場者を「おもてなし」していました。

3日目は台風も過ぎ去り徐々に来場者が増えて賑わいました。

展示は佐藤千鶴子の作品でした。

タクミジャパン2018のファッションショー